

令和2年度 学校教育目標

「自分のことばで夢を語り，
いのち輝く朱一の子
～言語活用能力の育成～」

学習指導要領改訂の考え方



新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化，高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し，目標や内容を構造的
に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

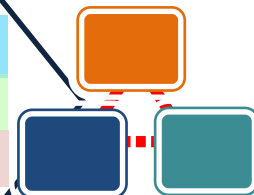
生きて働く知識・技能の習
得など，新しい時代に求
められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず，質
の高い理解を図るための
学習過程の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び



※高校教育については，些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており，
そうした点を克服するため，重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

令和2年度 学校教育の重点

目指す子ども像 と 3つの姿

京都市の目指す子ども像
「伝統と文化を受け継ぎ、
次代と自らの未来を創造する子ども」

3つの姿

1

広い視野と
豊かな感性を持ち、
よりよい人生や社会を
創造できる



2

様々な学びを生かし、
社会的・職業的自立を
果たすことができる



3

多様な他者と共に生き、
学び合い、
人権文化の担い手と
なることができる



学校運営 7つの柱 ～全教職員が進める確かな学校教育～

1

子どもの**命**を守りきる

2

カリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める

3

職責を自覚し、常に自己研鑽に努め、**教育の質の向上**を図る

4

校種間**連携・接続**を推進する

5

「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う

6

「社会に開かれた教育課程」の下、
保護者・地域と連携・協働した取組を推進する

7

関係機関など**社会**と連携した総合的・継続的な支援を展開する

令和2年度 重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を
学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める

幼稚園

- 1 幼児が主体的に遊ぶ姿を重視する
- 2 小学校期の学びにつなぐ
「学びに向かう力」を育む
- 3 自己発揮と自己抑制の調和のとれた
自律性を育む保育を推進する

高等学校

- 1 学校教育目標や育てようとする資質・
能力に根ざした授業改善を推進する
- 2 一人一人を大切する視点から、
個に応じた支援・指導や学習意欲の
向上に取り組む
- 3 新学習指導要領実施を各校の
将来計画の中に位置づけ、
学校改革を具体化する

小・中・小中学校（義務教育学校）

- 1 主体的・対話的で深い学びを重視した
授業を通して、学びの質を高める
- 2 日々の授業と家庭学習との連動を
通して、自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にし、「公共の精神」に
基づく態度を育む

総合支援学校

- 1 子どもを「できる存在」として捉え、
できる姿を通して「生きる力」を育む
- 2 地域社会と協働して、
社会に生きる子どもを育む
- 3 自立と社会参加の実現に向けた
生活態度や規範意識を育む

「生きる力」を育む 15の取組～知・徳・体の調和のとれた育成～

知

- 1 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
- 2 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- 3 探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現
- 4 グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- 5 LD等支援の必要な子どもの学力向上

徳

- 6 道徳教育の充実
- 7 伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- 8 規範意識の育成
- 9 多様性を理解する姿勢の涵養
- 10 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

体

- 11 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 12 保健教育の充実
- 13 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- 14 安全教育の充実
- 15 食に関する指導の推進

小中一貫教育
よんきゅう絆
プロジェクト
「未来を拓
き、しなや
かに生きる
子どもの育
成」

令和2年度 学校教育目標

「自分のことばで夢を語り、いのち輝く朱一の子 ～ 言語活用能力の育成 ～」

＜目指す子ども像＞

- ・自分の思いや考えを適切に伝え合う子
- ・ちがいを認め、助け合える子
- ・あきらめないでねばり強く学ぶ子

育成を目指す資質・能力

言語能力

人間関係形成力

課題解決力

目指す学校像

- ・子どもたちが学ぶ喜びを実感できる。
- ・教職員が誇りとやりがいをもてる。
- ・保護者が信頼する。
- ・地域が応援したくなる。

確かな学力

自律した学び手の育成

- ・新学習指導要領の内容をふまえた指導と評価の一体化
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と言語活動の充実
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・喫緊の課題対応（英語力の育成、プログラミング教育…等）
- ・図書館教育の充実
- ・自学自習による家庭学習の推進
- ・校内研究・研修の工夫改善
- ・教職員の資質・能力向上

豊かな心

認め合う集団づくり

- ・積極的な生徒指導の推進（三機能を生かした授業づくり）
- ・居場所となる学級集団の形成
- ・規範意識の育成
- ・人権教育の推進
- ・道徳教育の充実
- ・個別の支援の充実
- ・たてわり活動等児童会活動の推進
- ・伝統文化等体験活動の重視
- ・多様性の理解
- ・キャリアパスポートの活用

健やかな体

心と体を一体と捉えた健康教育の推進

- ・基本的な生活習慣の定着
- ・保健教育の充実
- ・体力向上の取組の実践
- ・食物アレルギーへの適切な対応
- ・食に関する指導の充実
- ・安全教育の充実
- ・薬物乱用防止

カリキュラムマネジメントの実施

一人一人の実態を把握し、到達目標を設定する。

R
-
P
D
C
A
サイ
クル
の
重
視

家庭・地域と共に歩む学校

＜進化し続ける
学校力＞

目指す 教職員像

- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする教育的愛情と情熱・使命感をもっている。
- ・自らの資質・能力向上に向けて、学び続ける。
- ・伝統を守り、変容を見とらうとする。
- ・子どもの置かれた状況を把握し、適切に関わることができる。
- ・子どもの命を守りきる。